



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン

コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 湧田 節夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当

(氏名) 勝島 雅彦

TEL 03-6219-8829

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	114,731	△0.3	6,166	49.1	7,259	65.2	4,225	146.4
23年3月期第2四半期	115,034	0.4	4,136	△11.8	4,393	△20.9	1,714	△36.3

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 3,816百万円 (171.0%) 23年3月期第2四半期 1,408百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	125.15	—
23年3月期第2四半期	48.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	202,463	145,202	71.5	4,386.74
23年3月期	207,794	147,962	71.0	4,307.43

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 144,683百万円 23年3月期 147,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00
24年3月期	—	70.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	233,800	△1.1	12,800	6.8	14,700	12.6	8,300	34.3	251.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	34,251,605 株	23年3月期	37,454,204 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,269,476 株	23年3月期	3,209,982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	33,763,323 株	23年3月期2Q	35,198,346 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は平成23年11月1日に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する資料及び説明会の模様(動画)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益及び包括利益計算書 第 2 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
( 5 ) セグメント情報等 .....	10
( 6 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
3 . 補足情報 .....	12
販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 事業環境

当第2四半期連結累計期間における国内の自動車関連消費におきましては、東日本大震災後の自動車生産台数の低迷に伴う新車の供給及び販売台数の減少によるカーアクセサリーの需要減少などマイナス要因はありましたが、平成23年7月の地上波テレビのデジタル放送への移行に伴う地上波デジタルチューナーなどの需要増加、東北地方を中心としたメンテナンス関連用品や中古自動車の需要増加、さらにタイヤ価格の値上げなどもあり、不透明な状況でありました。

#### 国内店舗における営業状況

当第2四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店0.8%の減少、全店0.5%の減少となりました。

「カー用品販売」におきましては、タイヤを中心に新聞広告、テレビCM、チラシなどを連動させた販促施策を展開いたしました。タイヤ販売では、気候や震災の影響によりスタッドレスタイヤからの履き替え時期が4月以降にずれ込んだことやナショナルブランドのタイヤの値上げにより売上が増加いたしました。カーエレクトロニクス商品では、平成23年7月の地上波テレビのデジタル放送への移行に伴い、地上波デジタルチューナーや据え置き型カーナビゲーションの販売が好調に推移いたしました。一方、新車販売台数の減少に伴い車内アクセサリーやインテリアなどの売上が減少し、また昨年の猛暑の反動でバッテリーの売上が減少いたしました。「車検・整備」は、震災や販促活動の自粛などにより一時的に売上が伸び悩んだものの、6月以降は売上が回復し、車検実施台数は前年同期比8.0%増加の約24万9千台となりました。また、「車販売・買取」におきましては、新車の販売台数が減少したものの、被災地における中古車需要の高まりに応じて中古車市場が活発化し、店舗における買い取りと主に東北地方の小売売上が好調となり、販売台数は前年同期比6.1%増加の約8千5百台となりました。

#### 連結業績

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比0.3%減少の1,147億31百万円、売上総利益は前年同期比3.2%増加の369億1百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比2.8%減少の307億34百万円、営業利益は前年同期比49.1%増加の61億66百万円となりました。営業外収支の増加は、主に前年と比較して為替差損が減少したことなどによります。この結果、経常利益は前年同期比65.2%増加の72億59百万円となりました。また、特別損失として店舗の移転や退店に伴う固定資産売却損や店舗整理損など59百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比146.4%増加の42億25百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下の通りであります。

#### < 当社 >

売上高は、前年同期比0.9%増加の950億円となりました。フランチャイズチェーン加盟法人に対する卸売部門では、カーエレクトロニクス、車内用品、カースポーツ用品の売上が減少したものの、タイヤや売場改装に伴う店舗への商品及び什器などの売上が増加し、前年同期比1.3%増加いたしました。小売部門では、直営の中古カー用品店の閉店や一部店舗の改装に伴う休業などにより、売上が前年同期比5.5%減少いたしました。

売上総利益は、前年度に比べタイヤや地上波デジタルチューナーの売上比率が増加したことや、タイヤの値上げ前の販売増によりリポートが計上されていること、さらにカーナビゲーションの販売価格を精査したことなどにより前年同期比5.5%増加の198億59百万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年度に比べて販促活動の絞り込み、節電活動への取り組み、弁護士費用などの支払手数料の減少などにより、前年同期比6.6%減少の133億78百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比44.3%増加の64億81百万円となりました。

#### < 国内店舗子会社 >

売上高は、前年同期比0.6%減少の389億67百万円、営業損失は前年同期に比べ2億16百万円改善の2億18百万円となりました。タイヤ・ホイール、地上波デジタルチューナーの売上が好調だったことによる売上構成比の変化に加え、タイヤの値上り前の仕入量増加に伴うリポートの増加などにより売上総利益率が改善いたしました。さらに、販売費及び一般管理費が震災後に販促を自粛したことなどにより前年より減少いたしました。

#### < 海外子会社 >

売上高は前年同期比6.0%増加の48億60百万円、営業利益は前年同期に比べ2億71百万円改善し1億13百万円と黒字転換いたしました。フランスでは、上期の後半にかけてヨーロッパの経済不安などの影響を受けたものの、タイヤを中心とした販促活動が店舗売上と粗利率の改善に貢献し、販売費及び一般管理費の抑制効果もあり営業利益が改善いたしました。中国では上海における現地子会社が運営する直営1号店の売上が増加しているものの、5月にオープンした直営2号店の新規出店に伴うコストの増加などにより、ほぼ前年並みの売上高と営業損失となりました。シンガポールでは堅調な店舗における売上とコストコントロールにより営業利益が改善いたしました。タイ王国は前年度に比べて政情

不安が改善しているものの、豪雨などの悪天候の影響もあり、収益は横ばいとなりました。

<事業子会社>

売上高は、オイルの卸売が減少したことなどにより、前年同期比6.2%減少の63億85百万円、営業利益は前年同期比27.3%減少の1億23百万円となりました。

<機能子会社>

売上高は、前年同期比63.5%減少の16億60百万円、営業利益は前年同期比37.8%減少の2億19百万円となりました。主に子会社であった株式会社プレーニングを平成22年8月に当社が吸収合併したことによるもので、この影響を除くと、ほぼ前年並みの売上高と営業利益となりました。

オートボックス2010中期経営計画の進捗状況

「オートボックス2010 中期経営計画」における主な施策の進捗に関しましては、売場改革においては今期215店舗実施する計画のオートボックス業態の改装を当第2四半期連結累計期間中に計画通り103店舗実施いたしました。改装を行った店舗は売上、客数、粗利額などにおいて未改装店を上回っており、改装の狙いであったメンテナンス関連の商品・サービスの売上が伸長するなど、一定の効果があらわれております。新規出店につきましては、6店舗を出店いたしました。これらの店舗におきましては、店舗によって差があるものの、全体的には計画を上回る売上となっております。なお、今期の新規出店計画は31店舗から25店舗程度になる見通しであり、これは主にに出店予定物件が最終的に締結に至らないなどの理由によるものであります。また、仕入改革においては仕入先との戦略的な取り組みにより粗利率の改善を進めております。さらに、接客強化においては前年度に引き続き接客研修を実施し、オートボックスチェーン在籍社員の約64%の受講が完了いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.6%、53億30百万円減少し、2,024億63百万円となりました。これは、主に投資有価証券が増加した一方で、有価証券及び未収入金が減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4.3%、25億70百万円減少し、572億61百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加した一方で、長期借入金及び未払金が減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9%、27億60百万円減少し、1,452億2百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、利益剰余金の配当等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ134億81百万円減少し、388億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に、法人税等の支払額34億8百万円がありました一方で、税金等調整前四半期純利益72億円及び売上債権の減少額46億6百万円等があり、70億83百万円の資金の獲得（前第2四半期連結累計期間は65億66百万円の資金の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に、有価証券の売却及び償還による収入30億90百万円がありました一方で、定期預金の増加額94億12百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出33億16百万円等があり、133億57百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は36億48百万円の資金の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に、自己株式の取得による支出42億41百万円及び配当金の支払額23億97百万円等があり、70億61百万円の資金の支出（前第2四半期連結累計期間は92億74百万円の資金の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日発表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成23年10月27日に発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、タイ王国の洪水被害による影響につきましては、店舗や商品調達に与える影響を現在精査中であります。今後、当社の業績に重大な影響を与えることとなった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,767	43,696
受取手形及び売掛金	22,977	22,062
有価証券	13,348	9,307
商品	17,461	18,921
その他	35,732	32,318
貸倒引当金	256	198
流動資産合計	133,031	126,108
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,695	22,365
その他(純額)	15,236	15,880
有形固定資産合計	36,931	38,245
無形固定資産		
のれん	913	797
その他	5,024	4,592
無形固定資産合計	5,938	5,389
投資その他の資産		
差入保証金	19,997	19,564
その他	15,613	16,534
貸倒引当金	3,718	3,378
投資その他の資産合計	31,893	32,720
固定資産合計	74,763	76,355
資産合計	207,794	202,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,307	15,264
短期借入金	3,164	4,644
未払法人税等	3,505	2,919
事業再構築引当金	1,101	1,025
その他の引当金	328	315
その他	17,241	15,331
流動負債合計	40,648	39,501
固定負債		
社債	205	170
長期借入金	8,481	6,559
引当金	381	379
資産除去債務	1,731	1,771
その他	8,383	8,880
固定負債合計	19,183	17,759
負債合計	59,832	57,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,278
利益剰余金	89,984	81,205
自己株式	10,636	4,273
株主資本合計	147,624	145,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	32
為替換算調整勘定	141	493
その他の包括利益累計額合計	120	525
少数株主持分	458	518
純資産合計	147,962	145,202
負債純資産合計	207,794	202,463

( 2 ) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	115,034	114,731
売上原価	79,263	77,830
売上総利益	35,770	36,901
販売費及び一般管理費	31,634	30,734
営業利益	4,136	6,166
営業外収益		
受取利息	86	78
受取配当金	20	21
持分法による投資利益	-	30
情報機器賃貸料	577	603
その他	1,581	1,814
営業外収益合計	2,266	2,548
営業外費用		
支払利息	100	85
情報機器賃貸費用	579	596
為替差損	399	307
その他	929	465
営業外費用合計	2,009	1,455
経常利益	4,393	7,259
特別利益		
固定資産売却益	435	-
貸倒引当金戻入額	409	-
事業再構築引当金戻入額	129	-
特別利益合計	974	-
特別損失		
固定資産売却損	-	29
減損損失	274	15
店舗整理損	273	14
特別退職金	460	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,166	-
特別損失合計	2,174	59
税金等調整前四半期純利益	3,193	7,200
法人税、住民税及び事業税	211	2,805
法人税等調整額	1,243	152
法人税等合計	1,455	2,958
少数株主損益調整前四半期純利益	1,738	4,242
少数株主利益	23	16
四半期純利益	1,714	4,225

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益	23	16
少数株主損益調整前四半期純利益	1,738	4,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	54
為替換算調整勘定	256	372
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	329	426
四半期包括利益	1,408	3,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,396	3,819
少数株主に係る四半期包括利益	11	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,193	7,200
減価償却費	2,256	2,222
減損損失	274	15
のれん償却額	147	52
事業再構築引当金の増減額(は減少)	215	76
貸倒引当金の増減額(は減少)	397	395
受取利息及び受取配当金	107	99
支払利息	100	85
為替差損益(は益)	2	3
持分法による投資損益(は益)	3	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,166	-
売上債権の増減額(は増加)	4,417	4,606
リース投資資産の増減額(は増加)	1,015	150
たな卸資産の増減額(は増加)	474	1,606
仕入債務の増減額(は減少)	1,624	97
その他	1,647	1,769
小計	8,111	10,456
利息及び配当金の受取額	131	120
利息の支払額	105	84
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,572	3,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,566	7,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	1,365	9,412
有価証券の取得による支出	1,997	2,745
有価証券の売却及び償還による収入	-	3,090
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,224	3,316
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,426	59
投資有価証券の取得による支出	2,573	1,583
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,049	11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	257	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	9	-
貸付けによる支出	-	324
貸付金の回収による収入	158	572
その他	144	289
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,648	13,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	20	48
長期借入れによる収入	180	250
長期借入金の返済による支出	1,948	644
自己株式の取得による支出	5,231	4,241
少数株主からの払込みによる収入	-	81
配当金の支払額	2,329	2,397
その他	74	62
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,274	7,061

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	145
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,440	13,481
現金及び現金同等物の期首残高	53,785	52,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,345	38,834

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	68,052	38,930	4,473	3,096	480	115,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,069	290	112	3,710	4,071	34,254
計	94,121	39,220	4,585	6,807	4,552	149,288
セグメント利益又は損失( )	4,492	435	157	170	352	4,422

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,422
棚卸資産の調整額	201
セグメント間取引消去	146
のれんの償却額	134
ポイント引当金洗替額	32
固定資産の調整額	111
その他	53
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,136

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、重要な発生及び変動はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	68,050	38,472	4,735	2,999	474	114,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,950	495	125	3,385	1,186	32,144
計	95,000	38,967	4,860	6,385	1,660	146,876
セグメント利益又は損失（ ）	6,481	218	113	123	219	6,719

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	6,719
棚卸資産の調整額	259
セグメント間取引消去	202
のれんの償却額	41
固定資産の調整額	9
ポイント引当金洗替額	15
その他	55
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	6,166

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間に発表いたしました「オートボックス2010 中期経営計画」による店舗収益向上策の進展に伴い、当社からの店舗支援の重要性が増したことから、国内店舗子会社及び海外子会社の営業成績の実態をより的確に把握するために、第1四半期連結会計期間より、予算管理方法を変更しております。この変更に伴い、従来、セグメント利益の測定対象としていなかった当社からの店舗支援に関する収入について、セグメント利益の測定対象としております。

なお、測定方法を変更した取引はセグメント間の取引であるため、四半期連結損益及び包括利益計算書への影響はありません。

当該変更により、前第2四半期連結累計期間について組替再表示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、重要な発生及び変動はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成23年5月11日開催の取締役会決議により、平成23年5月12日から平成23年9月30日までの期間に自己株式1,261,000株、取得価額の総額4,239百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成23年5月18日に自己株式3,202,599株の消却を実施したことにより、自己株式が10,606百万円減少し、あわせて利益剰余金が同額減少いたしました。

3. 補足情報

販売の状況

部門別売上状況

部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門	65,548	57.1	100.3
小売部門	47,469	41.4	99.1
その他(リース物件の賃貸借料)	1,713	1.5	97.0
合計	114,731	100.0	99.7

(注) 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

## 商品別売上状況

品目	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	14,745	22.5	111.8
カーエレクトロニクス	20,964	32.0	97.2
オイル・バッテリー	7,674	11.7	95.4
車外用品	5,413	8.3	100.2
車内用品	6,054	9.2	93.8
カースポーツ用品	3,504	5.3	89.2
サービス	1,193	1.8	108.3
その他	5,997	9.2	105.9
小計	65,548	100.0	100.3
小売部門			
タイヤ・ホイール	8,403	17.7	103.4
カーエレクトロニクス	11,046	23.2	99.4
オイル・バッテリー	4,029	8.5	97.1
車外用品	4,975	10.5	102.3
車内用品	4,687	9.9	93.7
カースポーツ用品	2,836	6.0	89.8
サービス	8,031	16.9	102.7
その他	3,458	7.3	93.9
小計	47,469	100.0	99.1
その他(リース物件の賃貸借料)	1,713	-	97.0
合計			
タイヤ・ホイール	23,148	20.2	108.6
カーエレクトロニクス	32,011	27.9	97.9
オイル・バッテリー	11,704	10.2	96.0
車外用品	10,389	9.1	101.2
車内用品	10,741	9.4	93.7
カースポーツ用品	6,341	5.5	89.5
サービス	9,224	8.0	103.4
その他	11,169	9.7	100.5
合計	114,731	100.0	99.7

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 卸売部門及び小売部門の「その他」は、車販売収入、中古カー用品販売及びロイヤリティ収入等であり  
ます。

3. 持分法適用関連会社(株)バッファロー他4社に対する売上高は、卸売部門に入っております。